

滑川市議会だより



3月10日(土) 昨年に引き続き土曜議会を開催しました

平成30年3月定例会一覧

開会 3月2日
閉会 3月22日 } 会期21日間

○本会議(主な内容)

- 2日 会期の決定
提案理由説明
補足説明
- 5日 補足説明
- 10日 代表質問・一般質問
- 12日 一般質問
- 22日 議案の委員会付託
委員長報告・質疑・討論・採決
追加提案
提案理由説明・採決
議員提出議案
提案理由説明・質疑・討論・採決
閉会中の継続審査

○委員会

- 5・12・22日 議会運営委員会
- 13・14・15日 予算特別委員会
- 16日 総務文教消防委員会
- 19日 産業厚生建設委員会

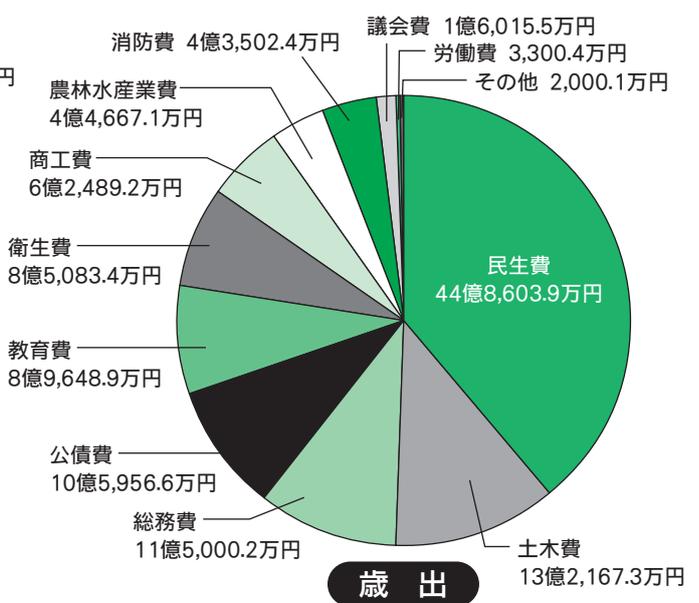
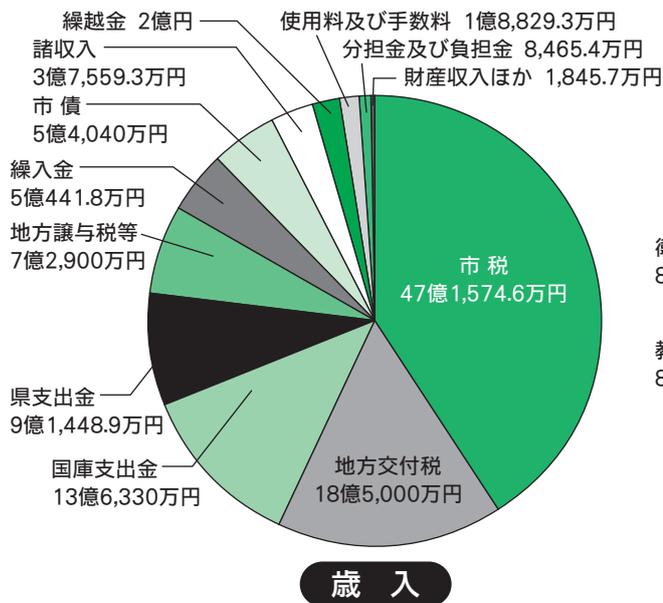
○議案の審議結果

予算(原案可決)	10件
条例(原案可決)	13件
その他(原案可決)	2件
請願(採択)	1件
陳情(採択)	1件
陳情(趣旨採択)	1件
陳情(不採択)	1件
人事(原案同意)	2件
人事(原案異議なし)	3件
議員提出(原案否決)	1件
合計	35件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は6月です。

平成30年度 滑川市の予算は？

予算額は、一般会計・特別会計・企業会計を合わせて 222億499万7千円(うち、一般会計114億8,435万円)



予算特別委員会の様子

平成30年度当初予算の審査を行うため、全議員で組織する予算特別委員会を設置しました。
今までは、各常任委員会が所管している市の予算について、それぞれの常任委員会で審査していましたが、全議員で審査することにより、監視機能を強化することが目的です。

予算特別委員会を設置

平成30年度の一般会計は114億8千435万円、前年度比4・1%減、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計予算の総額は107億2千64万7千円で、前年度比2・5%増となりました。一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は、222億499万7千円で、前年度比1%減となっています。

予算特別委員会で質疑のあった主な事業

○防災行政無線施設整備費 900万円

J・A・L・E・R・Tを新型受信機に更新します。

防災行政無線のデジタル化に向け、実施設計を委託します。

○デジタル化に向けたスケジュールは。

○平成34年11月までにはデジタル化が必要である。平成30年度に実施設計、31年度、32年度2カ年で工事を行い、遅くとも平成33年からはデジタル化した防災行政無線を運用したい。

○要・準要保護児童生徒就学援助費 1千654万円

経済的な理由から就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等を支給することで教育機会の均等を支援します。

○予算が増えているが、対象者が少しずつ増えてきているのか。

答 対象者の見込が29年度の予算要求では72人だったが、平成30年度では86人を見込んでいる。入学準備金の単価もアップしているためである。

○水質汚濁防止対策費

316万円

市内水質汚濁の状況を把握するため、河川、海域及び工場排水の水質調査を行います。

問 養豚場に関する排水調査を行っているのか。

答 早月川に合流する地点で、排水の水質調査を毎月実施している。

（上田市長）排水だけでなく、においについても県と協力しながら監視をしてみたい。

○豊かな農村づくり推進費

1千800万円

市単独の農業活性化施策により、市内農業者を支援します。

問 農地の保全管理や景観改善等に対しての支援とあるが、どのような事業か。

答 主に用途地域内の農地の保全管理や景観改善、農業生産活動を継続する農業経営体を支援するものである。

○21世紀桜のまち推進事業費

50万円

公共施設又は民有地において桜の植栽を行い、桜の花のまちづくりを目指します。

問 このままの進捗状況でいくと、目標の2万1千本に到達するにはかなりの時間がかかるのではないか。

答（長井建設部長）100年で毎年210本ずつ植えていくということ、かつては250万円の予算がついていたが、町内会、企業等でも敷地がないということで減ってきた。遺伝研桜もあるので、桜のまちをPRするために、寄附も利用しながら目標に近づけたいと思っている。

○中野島坪川線道路改良事業費

1千200万円

国からの社会資本整備総合交付金を活用し、歩行者と通行車両の安全確保を図るため、踏切整備に合わせて道路の拡幅を行います。

問 供用開始までのスケジュールはどうか。

答 踏切改良も合わせての事業であるが、30年度から平成34年度まで5カ年計画として行う。

3月定例会

本会議

◇3月2日に本会議を開き、まず会期を22日までの21日間と決めた後に、平成30年度一般会計予算や平成29年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案24件及び報告2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。（5日も補足説明）その後、本会議を再開し、議員全員で構成する予算特別委員会の設置を決めました。

◇10日、11日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会、予算特別委員会へ付託しました。なお、予算特別委員会の委員長は高橋久光議員、副委員長は尾崎照雄議員に決まりました。◇最終日の22日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長及び予算特別委員長か

ら、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

24議案は一括して採決され、各常任委員長及び予算特別委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

その後、請願第1号の採決を行い、賛成多数で採択となりました。引き続き陳情3件の採決があり、陳情第1号は不採択、陳情第2号は趣旨採択、陳情第3号は採択となりました。□続いて市長から人事案件として、副市長に石川忠志氏（北野）の選任、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に浦田弘氏（大榎）の選任、人権擁護委員候補者として若林干香子氏（上小泉）、石坂好美氏（栗山）、蜷川登美子氏（加島町）の推薦が追加提案され、いずれも同意または異議なしといたしました。

続いて議員提出議案1件の提案理由説明の後、採決を行い、否決されました。

最後に閉会中の継続審査を議決して、3月定例会を閉会としました。



常任委員会での審査(主な質疑等) 各常任委員会への付託案件はP14をご覧ください。

総務文教消防委員会

付託された4議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。陳情第1号については、賛成少数で不採択すべきものと決定いたしました。陳情第2号については、市当局の方針と合致することから、趣旨採択とすべきとして採決を行い、賛成全員で趣旨採択すべきものと決定いたしました。

☆平成29年度滑川市一般会計補正予算について

問 教育費の小学校トイレ環境改善費及び中学校トイレ環境改善費において、今回はどの学校の分なのか。また、今回で市内の全ての小中学校のトイレの洋式化が完了するのか。

答 今回は北加積小学校と滑川中学校の分であり、今回をもって完了する。

問 教育費の奨学事業基金積立金について、今回は100万円を積み立て、積み立て後の残高が6千400万円余りとなることだが、この積立金はどのような時に取り崩して使うのか。
答 (膳亀教育委員会事務局長) 大学生等への貸与に充てる。

問 高校生を対象とする奨学金の原資は別にあるのか。
答 (膳亀教育委員会事務局長) 高校生の奨学金については橋本一弘氏の寄附を原資とする別個の制度である。

陳情第1号については「印刷設備の設置及び維持管理には相当の経費が必要と思われること、利用団体の制限を余り設けなかった場合に市内印刷業者の経営を圧迫する心配があること、現在のところ市内の生涯学習団体、スポーツ団体、福祉団体、ボランティア団体等からこのような要望がないことから、設置については全く考えていない」との、陳情第2号については「学校の統廃合については、考えてもおらず、言ってもいい。小規模学校、少人数学級については温かく豊かな人間関係とよききめ細やかな指導により学力向上も期待でき、児童生徒の豊かな人間性を育むことが期待できる。また学校は地域住民の心のよりどころであり、学校の統廃合により地域の衰退、人口流出を招く恐れもあると考えている。空き教室の転用については、現在空き教室がほとんどないことから、今のところ考えていない。本市では学校を核にした地域づくりを今

後も大切にしていきたいと考えている」との見解が当局から示されました。

産業厚生建設委員会

付託された14議案につきましては、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

請願第1号及び陳情第3号については、どちらも賛成全員で採択すべきものと決定しました。

☆滑川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 介護医療院の創設は滑川市でどれくらい予定されているのか。
答 現在、吉見病院が療養型医療施設ということ、これからの話ではあるが、介護医療院に移行されるのではないかと想定している。

☆滑川市都市公園及び公園施設の設置基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 都市公園に設ける運動施設の面積割合が50%以内とすることに關してもう少し詳しい説明を。
答 (長井建設部長) 公園全体面積に対する、運動ができる施設の面積を50%以内とするものである。今までは、基準として50%を目安にということであったが、都市公園法施行令

の改正に伴い、面積割合を規定しなければならぬこととなった。全国的には、条例をつくり50%を超える面積の公園を設置する例もあるが、当市においては、運動公園、スポーツ・健康の森公園に關しても、従来どおりの50%以内で十分に該当している。これ以上大きい運動施設は公園の中では要らないということ、50%以内とした。

請願第1号については、請願者から趣旨の説明を受けた後に、委員から請願者へ質疑を行いました。委員から請願者に対し「一般的に後期高齢者とされる75歳ではなく、80歳を基準としているのはなぜか。」と質問があり、請願者から「75歳以上については協会を取り組んでいただきたい。80歳で協会から表彰を受けることもあり、これを協会からの卒業と受け取って、80歳からとした。」と回答がありました。

その後、長井建設部長より「80歳以上の料金については、皆さんが利用しやすい料金となるよう、検討してまいりたい。」との見解が示され、委員から質疑を行いました。委員から「検討の結論はいつごろ出すのか。」という質問があり、上田市長から「最短の時間で結論を出したい。80歳以上は無料でできればと思っている。」と回答がありました。

陳情第3号については、陳情者から趣旨の説明を受けた後に、委員から陳情者へ質疑を行いました。委員

第1回臨時会

から陳情者に対し「ダイビングをやっているのは何人くらいで、定期的にはいつごろが多いのか。」という質問があり、陳情者から「1年中潜ることはできる。人数は、2千人前後で、特に春先が多く、7月から9月は若干少ない。」と回答がありました。委員から「どのような設備が必要か、どのくらいの人数が利用できれば良いか。」という質問があり、陳情者から「シャワー付更衣室等があれば良い。人数は10人から20人程度が利用でき、夜間も利用できればなお良い。」という回答がありました。

その後、当局より「ダイビング施設の整備についてはシャワー、トイレ、休憩室等を整備するための予算を付けており、滑川蒲鉾跡地での整備を予定していたが、取得に至らなかった状況もあり、現在は整備中止となっているが、引き続き施設整備は目指しており、場所も含め再検討していきたいと考えている。」との見解が示され、委員から質疑を行いました。委員から「新しい建物を建てることも検討するのか。」という質問があり、「新しい施設を整備するということになると、整備費用もかかるので、既存施設の活用が良いか、新しいものを建てたほうが良いかも含めた上での検討を考えている。」と回答がありました。

平成30年第1回市議会臨時会は、会期を2月23日の1日間と決めた後に、空席となっていた副議長の選挙を行い、指名推選により開田晃江氏が副議長に当選されました。



開田副議長

次に富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、上田昌孝氏が当選しました。

続いて、「地方自治法第179条による専決処分承認を定めることについて」、「公の施設の他の団体の利用の件について」の市長提出議案2件が上程され、市長から提案理由の説明の後、所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を開き、各常任委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決、承認され、第1回臨時会を閉会としました。

日誌

30年2月

1日	全国広域連携市議会協議会 第49回総会（東京都）	27日	議会2月定例会（立山町） 広報広聴委員会
5日	全国高速道路自動車道市議会協議会 第44回定期総会（東京都）	2月22日	3月定例会
9日	産業厚生建設委員会協議会 定例議員協議会	5日	全員協議会
15日	富山県日中友好団体連合会 講演会	15日	広報広聴委員会
16日	議会運営委員会	22日	議会報編集委員会
19日	富山県市議会議長会 定期総会（富山市）	4月10日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会
20日	県東部消防組合議会提出 案件説明会（魚津市）	13日	議会報編集委員会 特別委員会協議会
21日	中滑川駅周辺整備検討 特別委員会協議会	26日	第93回北信越市議会議長会 定期総会
22日	滑川中新川地区広域情報 事務組合議会2月定例会	27日	第2回議会報告会
23日	議会運営委員会 全員協議会		
26日	産業厚生建設委員会協議会 第1回臨時会		
	県東部消防組合議会 全員協議会（魚津市）		
	県東部消防組合議会 2月定例会（魚津市）		
	富山地区広域圏事務組合 議会議員協議会（立山町）		
	富山地区広域圏事務組合		

一般質問

3月定例会では13名の議員が質問を行い、45項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、6月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定ですのでご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。）
※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

代表質問



1 上田市長の今後4年間の思いは
2 滑川市のまちづくりについて
3 市民の安全・安心について
4 学校教育について
(会派＝会派自民) 中川 勲 議員

Q 議員20年、市長8年の集大成であり、最も重点的に取り組みたいことは何か。

A 上田市長 安全・安心である防災行政無線のデジタル化、次に東福寺野自然公園内の青雲閣の建てかえ、中滑川駅前再開発、特徴ある農業を進めるなど、市民が真ん中の政治で今必要とされている問題に真摯に向かい合う。

Q どの自治体においても、財政健全化策に取り組んでいるが。

A 上田市長 少子高齢化や人口減少など、取り巻く環境は厳しさを増すことが予想され、財政健全化によって財政力を高めることは非常に重要なことだと認識している。本市は、全国的にも珍しい健全な財政に関する条例を平成23年3月に定め取り組んでいる。

Q 教育情報化推進計画は、どのように取り組むのか。

A 伊東教育長 滑川の未来を担う、創る児童生徒の情報活用能力の育成、効果的なICTを活用したわかりやすく、深まりのある授業の実践、情報セキュリティの確保と校務の情報化の推進を基本目標として策定する。新年度、特別支援

学級にタブレット端末を配布して一人ひとりの実態に応じた学習の支援ができるようにする。

Q 富山県のまちの未来創造モデル事業に上小泉地域が採択されたが。

A 杉田総務部長 その核となるハード事業として、芝生や遊具の設置による広場の整備、駐車場の拡張、ピオトープの整備などの「行田公園にここに元気広場整備事業」であり、ソフト事業として地元町内会と連携して子ども農園を活用した地産地消、食育の推進事業、ピオトープを活用した生物の生態観察事業等の子ども育成関連事業を計画している。

Q 防災行政無線デジタル化実施設計が予算化されているが。

A 杉田総務部長 現在のアナログ無線をデジタル化に取り組むわけで、新年度は実施設計を行い平成31年と32年で整備工事を実施する。

Q 昨年の市内における火災件数が7件と多くなっているが対策は。

A 元起消防署長 毎月1日15日に市内巡回広報を実施しているが、今後は、丁寧に住宅地を回る、また各家庭に火の用心の広報誌等を配布も検討する。

一般質問



1 市長選の結果について
2 「子ども第一主義」をどう進展させるか
3 「安全」「安心」について
(会派＝日本共産党議員団) 古沢利之 議員

Q 僅差の結果をどう受け止めているか。今後の市政運営に、これまでに以上に丁寧な説明が求められているのではないかと。

A 上田市長 公務を先行しあいさつに回り切れなかった。根回しではなく、少し丁寧な説明をしたい。
Q 保育料無償化を拡大する考えはないか。

A 上田市長 今のまま継続していきたい。

Q 子どもの医療費無料化を、例えば18歳まで拡大の考えはないか。

A 上田市長 国、県の方も子ども政策の発表があった。様子を見てやりたいと思っている。

Q 学童保育について、それぞれ専門施設が必要ではないか。

A 上田市長 それぞれの地区から問題点はあまり出ていないと認識している。

Q 学童保育の支援員の各種保険や時給など、処遇改善について求めてきた。最低賃金も上がっている。変更されたのか。

A 上田市長 30年度から業務中のけがにより働けなくなった場合などにも保障のある労災保険に加入

することにした。賃金については他市も調べ、遜色のないように対応したい。

Q 支援員のみなさんは研修が義務付けられ、専門職になった。処遇が変わって当然ではないか。

A 上田市長 趣旨はよくわかるので検討したい。
Q 市独自に返済の要らない奨学資金制度や、返済への援助制度を検討できないか。

A 上田市長 検討する。

Q 滑川市地域防災計画が見直された。県が昨年度発表した津波シミュレーション結果に基づくものかどうか。

A 杉田総務部長 改訂版津波ハザードマップを3月末に全戸配布する。防災訓練などに役立てたい。

Q 新年度に防災行政無線のデジタル化の実設計が予定されているかどうかの程度費用を想定しているか。

A 杉田総務部長 デジタル化の期限も決まっており、準備してきた。30年度に実施設計をし、費用はシステムの内容によるが、3億から4億円程度という目安だ。
その他の質問
・滑川駅前用地の今後について

一般質問



- 1 プロトン凍結機について
- 2 学校教育について

岩城 晶 巳 議員

Q 急速冷凍によるホタルイカの通年供給を目指してプロトン凍結機を整備した。ホタルイカブランド確立協議会をつくって事業を委託していくということだが、冷凍したホタルイカを出荷してもらうにはどのような手続きになるのか。

A 網谷観光課長 申し込みについては、電話またはファクスでの対応とし、注文書等をいただく形にしている。

Q 3トンまで冷凍できるということと、これは随時するわけにはいかず、とれるときにまとめて3トンしかできない。3トンを省くのは大変である。市内で消費するというのもなかなか難しい。都会の大手のホテルに売り込みに行かねばならないと思うが。

A 網谷観光課長 協議会では、幅広く販路を拡大していくことが必要であると思見もいただいております。県内のホテルや旅館、飲食店において営業活動を行ったところで、1千400折がさばける見込みが立った。そのほか東京の日本橋とやま館からも注文をいただいている。引き続き積極的な営業活動で安定した販売につなげてまいりたい。

Q 教員の働き方改革で、教員の負担軽減ということを考え、部活動の指導の見直しが本格化してきている。滑川市内においての状況はどのようなになっているか。

A 石倉学務課長 市内中学校の部活動については、教師の長時間勤務の解消のほか、成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスのとれた生活を送ることができるよう、週2日以上休養日の設定に努めることと明示して、3学期から実施している。

A 上田市長 スポーツの強化の面を言うと、子どもは力が余っているし、強化すべき時期に2日休まなければならぬということではなく、週の1日は体力トレーニング、総合体力づくりをやる、1日だけでも別の形で強化していかなければならぬと思っている。学校の先生だけでなく、その専門家を招き、強化にあたる体制をつくるかどうかこれから研究してまいりたい。

- ・観光について
- ・福祉について

一般質問



- 1 雪害対策について
- 2 障がい者支援について
- 3 みのわ温泉の利便性について

角川 真人 議員

Q 今回の大雪は累積降雪量が平均の15倍となったが、滑川市において雪による事故や、空き家や農業ハウスなどへの被害はどのくらいか。

A 下野総務課長 2月末現在で、空き家の屋根の崩落1件、公共施設の窓ガラスの破損1件、倒木1件、水道管の凍結30件などの報告を受けている。人的被害、農作物への被害はなかったと聞いている。

Q 除雪機の貸し出しや購入補助を行っているが、空き地の多い地域、高齢者の多く暮らしている地域の除雪を手伝うための、冬期だけの雪かき隊を検討してはどうか。

A 岩城建設課長 12月1日から建設部に除雪実施体制として除雪本部を開設し、翌3月31日までの期間3班集体を編成し、緊急時の対応も含めて体制を整えている。

Q 滑川市の出している障害者ハンドブックには、滑川市内で、ほたるかミュージアムに割引制度があるかと書かれているが、他の施設の記述がない。滑川市の施設で、障害者手帳による割引制度を行っているのはどのくらいなのか。

A 澤口福祉介護課長 市の施設で

は、ほたるいかミュージアム、サン・アピリティーズ滑川、あいらぶ湯で割引を行っている。市の施設以外では、滑川室内温水プールや、なめりCANクラブでも料金の割引を行っている。

Q 富山市ではスポーツ施設は障がい者無料となっている。滑川市でも、タラソピアなど健康づくりに活用されやすいところで、利用料の減免を考えてはどうか。

A 澤口福祉介護課長 市の施設の利用料の減免については、条例の規定に基づき運用されているため、今の割引の状況で足りていると考えている。

Q みのわ温泉を滑川市にある温泉施設としてアピールするために、今主に利用されているお年寄りが利用する上で、浴室の手すりや休憩室、トイレの手すりなど利用者目線で考えてはどうか。

A 落合スポーツ課長 バリアフリー対応として、昨年度ファミリィハウスにエレベーターを設置し利便性の向上を図った。今後も、安全で快適に利用していただけるよう取り組んでいく。

一般質問



1 小規模化する市内小学校について

大浦豊 貴議員

Q 全国的に、人口減少、少子化による公立小学校の児童数の減少が進み、滑川市内でも緩やかではあるが減少傾向にある。平成29年5月現在1千728名の児童数から今後6年でどう推移されていくと予想されるか。

A 石倉学務課長 6年後の平成35年度では1千502名で、226名の減になると見ている。人口動態調査によると30代及び0歳から14歳において転入超過となっている。児童数の人口減少が抑制されることを期待する。

Q 平成35年には1千502名になるという推移だが、少子化を緩やかにすることは出来ても歯止めをきかすことはできないと私は判断しているが同じ認識を持っているか。

A 石倉学務課長 歯止めがきくかどうかということとは、私の立場からは何とも言えない。

Q 平成28年度に、文科省による学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査が行われ、全国市区町村の82%が小規模化を認識しているが42%の市区町村が課題を放置していると報告されたが滑川市の認識

はどうか。そこで東加積小学校に関して、将来的に存続していくとの方針決定の根拠は何か。

A 上田市長 東加積小学校の子どもは素直で優秀、教育効果も上がっていることが現認されるので統廃合はない。私の市長の後どうされるかはわからない。

Q 児童数が減少していくとわかっていても教育環境に影響はない、危機感を感じていない、という認識は放置ではないのか。

A 伊東教育長 それぞれの課題に応じて対応していきたい。

Q 統合を含めた規模適正化・適正配置を早い段階で検討する組織の立ち上げが必要ではないか。また進めるのであれば、地域衰退を招かない施策も同時並行で考えていかなければならないのではないか。

A 上田市長 具体的な解決策を出していくことが市政の身近な仕事である。指摘された点を参考にしながら進めていかななくてはと思う。市全体を眺め総合判断のうえ今後の方向を定めていきたい。

・共生社会実現の推進について

一般質問



3 2 1
除雪体制の見直しについて
みのわ温泉テニス村の利活用について
東加積小学校の機械・設備の整備について

浦田竹昭 議員

Q 今年度の除雪体制の実績と総括並びに雪どけ後の道路等の、損傷箇所の点検と修繕について問う。

A 岩城建設課長 道路交通の確保を目的とした除雪計画を策定し実施しており、おおむね順調に道路交通の確保が図られた。また、道路パトロールの実施から、路面や道路付属物等の修繕を順次実施している。

Q 除雪路線、除雪延長、除雪機械の拡充、除雪要員の育成・確保等、今後の傾向と、総合的な除雪計画の見直しについて問う。

A 岩城建設課長 路線数や延長の要望は増え、機械や要員は横ばいまたは減少傾向と予想され、重要な路線を中心に、緊急性、交通量や沿道状況、除雪業者の能力を勘案し除雪路線を決定していく。

Q グリーンハウスの使用されていない施設・機械設備の現状と今後の見直しについて問う。

A 落合スポーツ課長 いずれも使用を止めており、今後とも2つの施設、グリーンハウス、ファミリィハウスを一体的に有効活用し、円滑な運営に努めたい。

Q グリーンハウスのリニューアル

を含めたみのわ温泉テニス村一体として、中長期的な利活用構想について問う。

A 落合スポーツ課長 グリーンハウスのみならず、みのわ温泉テニス村全体の施設の長寿命化に係る修繕や維持管理等を考える必要があり、有利な財源確保等を合わせて検討していく。

Q 東加積小学校のストーブの故障、換気扇の不具合、床のカーペットの損傷等の、現状把握と修繕対応について問う。

A 石倉学務課長 学校からの報告や現地の調査により状況把握している。FF暖房は、部品が入手できず修理が困難で、エアコン対応をお願いしている。限られた予算の中で、できる限り迅速に修繕の実施に努めたい。

Q 構造物の延命対策として、施設の点検整備、修繕の計画的な実施について問う。

A 石倉学務課長 公共施設等総合管理計画において、施設の長寿命化を図るため、予防保全の考え方による計画的な維持管理・更新を実施していきたい。

一般質問



4 3 2 1

中小企業支援について
地域包括ケアシステムについて
教育について
学童保育について

尾崎 照雄 議員

Q 国会に提出された生産性向上特別措置法案において、中小企業の設備投資に対する固定資産税の減免措置が規定されたが、本市の対応は。

A 長崎商工水産課主幹 法案の趣旨に沿い、中小企業の設備投資の支援を行うことにより、生産性向上や事業拡大、雇用創出につながるものと考えることから、固定資産税の税額を3年間免除できるよう、課税標準の特例率をゼロとする方針で取り組んでいきたい。

Q 介護保険の在宅医療・介護連携推進事業について、前年度と比較しての取り組み内容は。

A 澤口福祉介護課長 在宅高齢者の状態の変化などに応じて、医療・介護関係者間での情報共有や相談、指示が速やかに、そして正確に行われ、それぞれが適切に対応できるためのICTツールを新たに導入し、さらなる連携強化に努めてまいりたい。

Q 地域ケア会議についての取り組みは。

A 澤口福祉介護課長 介護予防に力点を置いた個別会議の開催を検討しており、新たにOT・PTの

リハビリ専門職をはじめとする多職種が協力して、支援内容や新たな視点での課題解決方を検討することにより、高齢者の意欲と生活の質の向上を目指すこととしている。

Q 本市の小中学校における児童・生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性について伺う。

A 膳尾教育委員会事務局長 中学生は学習指導要領の改訂において、心肺停止時のAEDの必要性が明記され、心肺蘇生法とAEDの講習を行っている。今後は、小学校のころからAEDを含む心肺蘇生教育に関する知識を学ぶことは、大変有効であると考えており、学校、消防等と協議調整しながら、引き続き取り組んでいきたい。

Q 子どもが卒園した後、小学校の入学式までの1週間預かってくれるところがないと聞く。切れ目のない子育てのため、学童保育の受け入れ体制を整えるべきであると考えるが。

A 石川子ども課長 共働きの増加に伴い、新1年生の受け入れニーズが高まっている。今後、各クラブと協議していく。

一般質問



4 3 2 1

除雪について
市内の公園等の緑地管理、街路樹の管理業務委託について
ほたるいか海上観光について
屋内運動場の運営について

竹原 正人 議員

Q 今シーズンの大雪に対しての除雪作業における対応は。

A 岩城建設課長 1月に除雪トラックの事故があったが人的に被害には至らず、おおむね順調に道路交通の確保が図られたと考える。

Q 除雪業者やオペレーターの減少を防ぐため、固定費のあり方と就労体制をどう考えているのか。

A 岩城建設課長 固定費については稼働の有無に関係なく、除雪期間中、機械を拘束することになるので、固定的経費を支払っている。県や近隣の市や町を調査した結果、機械管理費の対象月数を平均値で3カ月としている。就労体制については、市からは除雪委託業者に対して特段関与はしていない。

Q 委託の内容の設計は必要最小限で、追加作業が多く、適正な価格での設計内容ではないため、設計の見直しを担当課に要望しているが一向に改善されないと関係業者から聞くが、実態はどうなのか。

A 川岸公園緑地課長 現在の設計については、以前からの基準に基づき積算している。今後については、現状調査を実施することとしており、実情に合わせた委託内容

で検討してまいりたい。
Q 観光客の受け入れ体制、おもてなしの準備は整っているのか。

A 網谷観光課長 人員が倍ということ、従事者も増員して対応する。土曜日、日曜日以外の平日に空きがあり、ウエーブ滑川、観光協会でPRに努め、定員いっぱいでの運航で実施できるよう努める。

Q 例年ホテルイカのポイルをおもてなしとしてやっていたが、今年人数が多いため手土産に変えポイルは振る舞わないのか。

A 網谷観光課長 ホテルイカのポイルを振る舞わないということを考えている。

Q 屋内運動場の運営業務を委託する滑川市体育協会へは、きちんと引き継ぎができるだけのノウハウを精査したのか。

A 落合スポーツ課長 本施設は常駐の管理人を置かず、利用団体が責任を持って備品利用やグラウンド整備を行うことを基本としている。利用ルールや利用マナーの徹底と定着化を図り、4月から新しい指定管理者である滑川市体育協会へスムーズに引き継ぎができるよう努めてまいりたい。

その他の質問
・水道料金、下水道使用料の滞納について

一般質問



5 4 3 2 1

手話について
児童の虐待について
財政について
市職員の業務遂行について
市長の給料3割カット・退職金の全額返納について

脇坂章夫 議員

Q 専任手話通訳者の活動は。

A 澤口福祉介護課長 福祉介護課に配置し、聴覚障害者の手話通訳や各種相談対応、いずれば庁舎外に手話通訳の派遣も想定している。

Q 小さい子の虐待と親のケアは。

A 石川子ども課長 児童虐待への対応は、要保護児童地域対策協議会を設置し、健康センターなど関係機関と連携し、早期発見・早期対応に努めている。子育てに困難を抱える保護者には、家庭児童相談員が寄り添い、話を聞く、相談に乗る、アドバイスなどの支援をしている。子どもと子どもの親のための子育て支援策に子ども第一主義で取り組んでいる。

Q 本市の財政は破綻しているのか。ようなことだが心配はないのか。

A 杉田総務部長 一般家庭に例えて、平成28年の市の一般会計の決算額を2千分の1にしてみた数字と比較すると、収入が679万円、支出が638万円、差し引き41万円の赤字となった。41万円の繰越金は貯金に回すか、借金の繰り上げ返済に回すルールになっている。現在のところ、実に安定的な家計である。

Q 市職員は活気に満ちているが意識改革に取り組んでいるのか。

A 石川副市長 今は、少子高齢化の進行、人口減少等、大きな転換期の中で、市職員も一生懸命頑張っている。市では「市役所は市内最大のサービス産業」をモットーに日頃から3Sを行っている。1つはスマイル、ほほ笑み、2つ目はスピード、スピード感が非常に大事である。3つ目は親切と、これを3Sとあって、この3Sを職員が努めている。また、最近、市民の方から市のスピードが速くなった、笑顔で接し明るい市役所とお褒めの言葉もいただいた。

Q 給料の3割カット、退職金全額返納を取り下げは。

A 上田市長 8年前の滑川市の財政状況は危機的状況にあった。23・1%の借金返済率を抱え、この財政を立て直すために、市長選に出た。この8年間で財政は健全になったので、今期は、提案はしない。私の目的は達成されたので、戻す決断を自分に下した。ましてや、今回の選挙で財政が危ないと言われて、もう大丈夫だという証にもした。

Q 本年度から米の生産調整が撤廃されたことに伴い、滑川市の農家、営農組織に及ぼす影響は、行政としてどのようなことがあるのか。

A 藤名農林課長 米の生産数量目標及び米の直接支払交付金、一反あたり7千500円が廃止されること。変更による影響としては、生産現場の不安や混乱、交付金の廃止による経営不安や取り組み意欲の低下、米価の下落への不安等が考えられる。各種団体と連携し、農業者の所得向上に努めてまいりたい。

Q 担い手不足による耕作放棄田の増加、営農組織への委託がより進む。受け手農家で滑川市農業の耕作面積を全部まかない切れないうちはないか心配するが。

A 藤名農林課長 新規就農者の育成、農業用機械の省力化や自動化、もうかる農業の仕組みづくりなど関係機関と連携して取り組みたい。

Q 土地改良区や水利組合が今まで基盤整備した負担金を地主が納めている、これから責任は誰が持つべきか、行政指導も必要でないか。

A 藤名農林課長 利用権設定の事務を行っている農業公社では、受け付け時に負担者について説明や確認を行っている。

Q 地主、営農組織、受け手の調整役として国、県の指導組織の中間管理機構となる農業会議が窓口となつて組織の受け手になっている。わかりやすく説明を。

A 藤名農林課長 貸したい方は、公社を通して農地中間管理機構と契約し、農地を借りたい方は機構が実施する借受希望の公募に応募し、中間管理機構から農地が貸し付けられるもの。

Q 農家所得が上がるような施策、農家への指導や一般市民消費者へ啓蒙活動すべきではないか。

A 藤名農林課長 「なめりかわ地産地消推進の店・団体」を認定し、地産地消の取り組み拡大に努めてもらっている。

Q 有害鳥獣問題がいつぱいニュースに出てくる。平成30年度では新しく担当課として新たな対策があれば何う。

A 藤名農林課長 有害鳥獣の捕獲体制の強化のため、銃器やおりによる捕獲活動やパトロールの強化を図った。中山間地域等直接支払交付金の活用など、地域の協力的体制の構築を図っていききたい。

Q 我が市の農業施策について

一般質問



1 我が市の農業施策について

高橋久光 議員

一般質問



1 上水道について
2 下水道について
3 児童館について

青山 幸 生 議員

Q 上水道課内では平均年齢39歳と若くて安心してはいる。しかし職員数は減少しており、今後の対応に問題はないか。

A 長瀬上下水道課長 上水道専任の技術職員は現在1名であり、職員数が少ないことは認識している。複数の人員体制となるよう努めてまいりたい。

Q 人口が減れば水道事業にも問題がでてくる。貸借対照表上の現金預金4億3千200万円の底がついたら、水道事業も一般会計からの繰り出しとなるか。

A 長瀬上下水道課長 そういふ形になる。

Q 養鶏場建設問題で、水道にもたらす危険は何かあるか。

A 長瀬上下水道課長 養鶏場建設予定地の下流には、伏流水を原水としている第一水源地があり、またその下流には水源地在11カ所あることから、水質汚染の危険があると懸念される。

Q 議会側も養鶏場の反対をずっとしている。市長から水道について何かあれば。

A 上田市長 水は命である。養鶏場の話は消えたという情報がある

が、決定的なところをまだ押さえきれていない。新たにタテヤマファーム養豚場が大変な問題であり、入会橋から見ると原液が流れているような状況で、県の環境と畜産に対して嚴重に抗議をしているところだ。水道水源がすぐそばにあり、上流から汚物を流すことは困るわけで、細菌等も含めて嚴重な検査と対応策を県に動いていただいている。

Q 下水道について一般会計から資金を入れていく状態であり収支は良くない。将来的に地方債の償還は、行き詰まらないか。

A 長瀬上下水道課長 交付金を活用しながら、未整備地区の管渠築造工事を順次進めていく。実施に際し、資金調達に加え、先行投資に対する後年度利用者との公平の観点から、引き続き地方債を借り入れていく必要があり、投資額を調整し、地方債残高が増加しないよう努力する。

Q ウイルスの接触感染対策として児童館に殺菌庫はどうか。

A 石川子ども課長 今後の安全を考えると、要求をしていきたい。

A 石川子ども課長 今後の安全を

一般質問



1 教育について
2 観光について

開田 晃 江 議員

Q 科学・理数・ものづくり教育推進事業は、今後どのように進めていくか。教科書との整合性についてはどうか。

A 石倉学務課長 平成28年度に理科備品がそろい、各校で備品の使い方について、教職員の研修会を開き、理解を深めていく。また、整合性については、教科の学習内容と関連させ、理科の学習を一通り終えた後、学習の前や学習中に科学の時間を設定し、学ぶ意欲を高め、活用する力を育むようにしたい。

Q デジタル教科書の活用は考えないか。

A 石倉学務課長 各学校の要望を受けてデジタル教科書を配布しており、理科教材に関しては大変豊富である。今後科学の時間でICTを活用した授業については、各学校や教育センターとともに研究を進めていきたい。

Q 各小学校と中学校の進捗の連携はとれているか。また、小学校と中学校の連携はとらないか。

A 石倉学務課長 理数教育推進委員会を設けており、その中で各校に区で集まる学園別委員会を設定し

教員が集まって情報交換する機会を定期的に設けている。その中で各小学校間や小学校と中学校で連携し、より充実していきたい。

Q キラリンの乗船案内看板300万円の予算がついていたが、何も掲げられていないのはなぜか。

A 網谷観光課長 観光遊覧船の運航体制を決定した2月に入札を行い、3月21日までに完成するよう、現在工事を進めている。

Q ほたるいかにミュージアムの20周年はいつか。

A 網谷観光課長 平成10年3月26日に開館しており、今月末には20周年を迎える。

Q 記念事業は何か考えているか。2階のミュージアムシアターを全面改築し、3D画面で子ども達は何回でも見たがる新しいブースをつくってはどうか。また、光彩にエレベーターを設置してはどうか。

A 網谷観光課長 シアターの3D画面化については、施設の管理運営をしている、ウェーブ滑川の意見を聞き検討する。エレベーターについては、建物のスペース、費用の問題もあり、施設を抜本的に見直す時期に検討する。

代表質問



- 1 災害時の対応について
- 2 中学校の部活動について
- 3 介護福祉について

大門良 輔議員

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、6月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

Q津波が発生した場合、一時避難場所として民間企業に避難できる企業間協定について伺う。

A下野総務課長 地元等から要望があり、日医工株式会社とは付近住民の一時避難場所として協定を締結している。

Q高月南台、魚躬、緑町の方々が津波が発生した際、線路の上にある企業や自動車学校に一時避難できればありがたいという要望があるが、企業間協定を結べないか。

A下野総務課長 近くの会社で相談をしようという話がないところもあるが、要望でこちらの会社はどうですかという話があれば、相談に乗らせていただきたいと思います。

Q部活動指導員に関して他市は30年度導入に向けて予算を入れているが、滑川市は予算にも入っていない。これは補正で入れるのか、もし導入に課題があれば教えてください。

A石倉学務課長 生徒のスポーツ環境充実の観点からも、各競技団体との連携、地域のクラブ活動、学校の実態や実情に応じてスポーツ環境の整備や充実、部活動のあり方について検討し、調査研究し

ていきたい。

Q今後介護の需要が高まる一方で2025年に向け介護の現場では人材不足が出てくるのではと考えるがどうか。

A澤口福祉介護課長 滑川市において介護人材不足は問題になると認識している。比較的元気なうちに介護予防に取り組んでいただき介護を必要とする人が増えないように、また高齢者が介護の担い手になるよう人材不足の解消につなげたい。

Q富山医療福祉専門学校は新川地区で唯一の介護や医療を学べる場であり人材育成や輩出の重要な拠点と認識している。しかし生徒が激減している状況を踏まえ学校の位置づけをどう捉えているのか。

A上田市長 短大や大学が出てくると、同じ資格を持っていても専門学校というだけで待遇が悪いことがあり学生が集まらない。今専門学校の場合は大学資格を取る手続きに向け努力をされており、期待している、滑川市にとってはほかにない福祉の専門学校であるので、このまま大いに使っていく

① 請 願・陳 情 ② 意見書提出要請

件名及び提出者 処理結果

① 請願・陳情 (4件)

- 1 請願書.....採 択
東福寺野シニアクラブ 代表 四十本 宏、成瀬 末子
- 2 市民に開放された廉価な印刷設備を設置する陳情書.....不採択
日本群読教育の会 副会長 毛利 豊
- 3 学校統廃合に反対しきめ細かな教育に転換する陳情書.....趣旨採択
滑川の教育をただす市民の会 代表 毛利 豊
- 4 ダイビング施設整備に関する陳情書.....採 択
本 林 直 樹

② 意見書提出要請 (1件)

- 1 消費税10%中止を求める意見書採択の請願書.....議会運営委員会不一致
消費税をなくす富山県の会 代表世話人 水谷 敏彦

※訂正とお詫び

議会だより第189号、12ページの請願、陳情、要望書の欄につきまして、「要望書」と表記しておりましたが、正しくは「①請願・陳情、②要望書」となります。訂正してお詫び申し上げます。

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第29号 ～議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦について		原案異議なし
請願第1号	請願書	産	採択
陳情第1号	市民に開放された廉価な印刷設備を設置する陳情書	総	不採択
陳情第2号	学校統廃合に反対しきめ細かな教育に転換する陳情書	総	趣旨採択
陳情第3号	ダイビング施設整備に関する陳情書	産	採択
議員提出議案第1号	消費税10%中止を求める意見書		原案否決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会、予：予算特別委員会

賛否一覧表

議案	会派自民				共産党 議員団		無会派							
	原明	岩城晶巳	中川勲	高橋久光	角川真人	古沢利之	大門良輔	大浦豊貴	脇坂章夫	青山幸生	竹原正人	尾崎照雄	浦田竹昭	開田晃江
陳情第1号	/	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●
市民に開放された廉価な印刷設備を設置する陳情書														
陳情第2号	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
学校統廃合に反対しきめ細かな教育に転換する陳情書														
議員提出議案第1号	/	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●
消費税10%中止を求める意見書														

※賛成者は○、反対者は●としています。※議長は採決に加わらないため「/」としています。

全員賛成以外の議案についてのみ掲載しています。

議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 47512111
(内線371)

【議会報編集委員】
角川真人委員長
岩城晶巳副委員長
大門良輔委員
竹原正人委員
尾崎照雄委員
開田晃江委員

6月定例会が下記の日程で開催されます

日	時間	摘要
6月4日(月)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
11日(月)	10時	代表、一般質問
12日(火)	10時	一般質問
13日(水)	10時	総務文教消防委員会
14日(木)	10時	産業厚生建設委員会
18日(月)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決